



# ユーザーガイド

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

AMD は、米国 Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

#### **製品についての注意事項**

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

初版：2018 年 1 月

製品番号：L14985-291

## このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

- 
- ⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - ⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - 📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
- 

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
製品の特長および各部 .....	2
特長 .....	2
背面の各部 .....	4
21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル、23 インチ（対角長 58.4 cm）モデル、および 23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル .....	4
25 インチ（対角長 63.3 cm）モデルおよび 27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル .....	5
前面の各部 .....	6
モニターの設置 .....	7
モニター スタンドの取り付け .....	7
ケーブルの接続 .....	8
モニターの調整 .....	10
モニターの電源投入 .....	10
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー .....	11
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....	11
<b>2 モニターの使用</b> .....	<b>12</b>
ソフトウェアおよびユーティリティ .....	12
情報ファイル .....	12
Image Color Matching ファイル .....	12
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用 .....	13
自動スリープモードの使用 .....	14
低ブルー ライトモードの選択 .....	14
<b>3 サポートおよびトラブルシューティング</b> .....	<b>15</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	15
ボタンのロックアウト .....	16
自動調整機能の使用（アナログ入力） .....	16
画質の最適化（アナログ入力） .....	17
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	19
お問い合わせになる前に .....	19
シリアル番号と製品番号の位置 .....	19

<b>4 モニターの保守</b> .....	<b>20</b>
保守に関するガイドライン .....	20
モニターの清掃 .....	20
モニターの運搬 .....	21
<b>付録 A 技術仕様</b> .....	<b>22</b>
21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル .....	22
23 インチ（対角長 58.4 cm）モデル .....	23
23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル .....	24
25 インチ（対角長 63.3 cm）モデル .....	25
27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル .....	26
電源アダプター .....	27
プリセットディスプレイ解像度 .....	27
ユーザー モードの使用 .....	28
省電力機能 .....	28
<b>付録 B ユーザー サポート</b> .....	<b>29</b>
サポートされている支援技術 .....	29
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	29

# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

お使いのモニターには外部電源アダプターおよびコードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについては、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📌 重要：** モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ **警告！**化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

📖 **注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

## 製品の特長および各部

### 特長

この製品は AMD® FreeSync 対応モニターで、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことができます。モニターに接続されている外部ソースに、FreeSync ドライバーがインストールされている必要があります。

AMD FreeSync テクノロジーは、ゲームやビデオが滑らかに動かなかったり目に刺激を与えたりする問題をなくすために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートに固定します。特定の機能については、お使いのコンポーネントやシステムの製造元に問い合わせてください。

📖 **重要：**AMD Radeon グラフィックスおよび AMD A シリーズ APU 準拠のモニターでは、DisplayPort/HDMI Adaptive-Sync が必要です。HDMI 経由での FreeSync をサポートするには、AMD 15.11 Crimson 以降のドライバーが必要です。

📖 **注記：**適切なリフレッシュレートは、モニターによって異なります。詳しくは、<http://www.amd.com/ja-jp/innovations/software-technologies/technologies-gaming/freesync/> を参照してください。

モニターで FreeSync を有効にするには、モニターの **メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを表示します。**[カラー コントロール]**→**[表示モード]**→**[Gaming-FreeSync]** (ゲーム用 FreeSync) の順に選択します。

このガイドでは、以下のモニターの特長について説明します。


- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、21.5 インチ (対角長 54.6 cm) の表示画面領域
- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、23 インチ (対角長 58.4 cm) の表示画面領域
- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、23.8 インチ (対角長 60.5 cm) の表示画面領域
- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、25 インチ (対角長 63.3 cm) の表示画面領域
- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、27 インチ (対角長 68.6 cm) の表示画面領域



このモニターの特長は以下のとおりです。

- LED バックライト付き IPS パネル
- アンチグレア（非光沢）パネル：21.5 インチ（対角長 54.6 cm）、23 インチ（対角長 58.4 cm）、23.8 インチ（対角長 60.5 cm）、27 インチ（対角長 68.6 cm）の各モデル
- ローヘイズパネル（半光沢）：25 インチ（対角長 63.3 cm）モデル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）および VGA ビデオ入力
- AMD FreeSync に対応しているため、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことが可能
- プラグアンドプレイ機能（オペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能（複数の言語に対応）
- すべてのデジタル入力で使用される HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

---

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

---

## 背面の各部

背面の各部の名称と位置は、モデルによって異なります。

21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル、23 インチ（対角長 58.4 cm）モデル、および 23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル



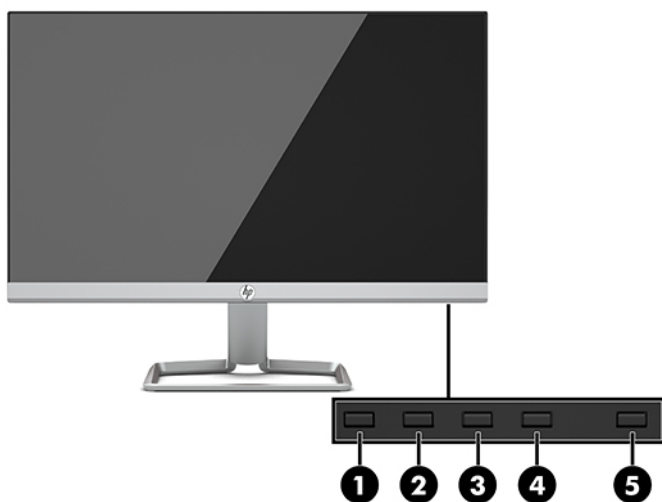
名称	機能
(1) HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(2) VGA コネクタ	VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
(3) 電源コネクタ	電源アダプターをモニターに接続します
(4) セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブルをモニターに接続します

## 25 インチ（対角長 63.3 cm）モデルおよび 27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル




名称	機能
(1) HDMI 1 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(2) HDMI 2 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(3) VGA コネクタ	VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
(4) 電源コネクタ	電源アダプターをモニターに接続します
(5) セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブルをモニターに接続します

## 前面の各部




名称	機能
(1) <b>メニュー/OK</b>	<b>メニュー</b> ：オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが閉じているときに押すと、OSD メインメニューが開きます <b>OK</b> ：OSD メニューが開いているときに押すと、OSD メニューの項目を選択できます
(2) <b>情報/自動調整/-（マイナス）</b> 機能ボタン3：割り当て可能	<b>情報</b> ：OSD メニューが閉じているときに押すと、メインのビデオソースがHDMIの場合は情報メニューが開きます <b>自動調整</b> ：OSD メニューが閉じているときに押すと、メインのビデオソースがVGAの場合は、自動調整機能が有効になって画面表示が最適化されます <b>-</b> ：OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます
(3) <b>入力/+（プラス）</b> 機能ボタン2：割り当て可能	<b>入力</b> ：OSD メニューが閉じているときに押すと、次のビデオ入力コネクタ（VGA または HDMI）に進みます <b>+</b> ：OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます
(4) <b>表示モード/終了</b> 機能ボタン1：割り当て可能	<b>表示モード</b> ：OSD メニューが閉じているときに押すと、[表示モード]メニューが開き、さまざまな画面表示設定を選択できます <b>終了</b> ：OSD メニューが開いているときに押すと、変更を保存して OSD メニューを終了します
(5) <b>電源</b>	モニターの電源のオン/オフを切り替えます

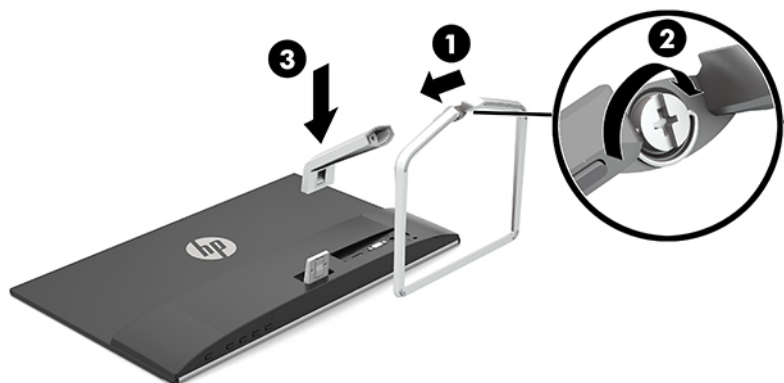
 **注記**：OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。**メニュー** ボタンを押して OSD を開き、[メニューコントロール]を選択します。[ボタンの割り当て]を選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

# モニターの設置

## モニター スタンドの取り付け


 **重要**：モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。


1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドの台座をスライドさせて (1) スタンドアームの下部に入れ、台座の下側にあるネジを締めます (2)。スタンドアームの上部をモニター本体の背面にある接合部に取り付けます (3)。カチッと音がして所定の位置に収まるまでスタンドアームを差し込みます。



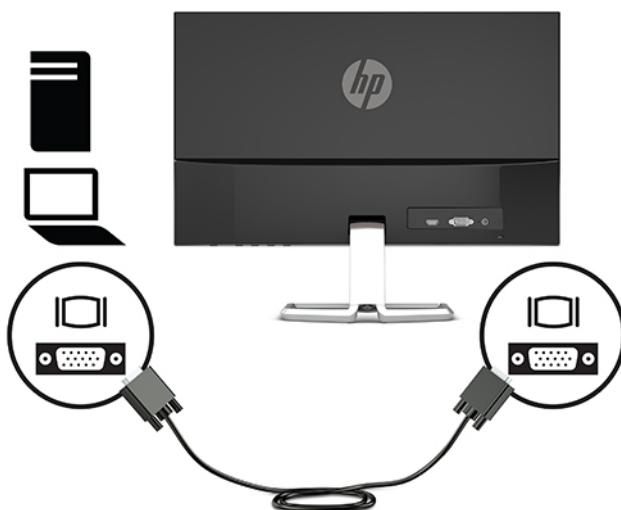
## ケーブルの接続

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

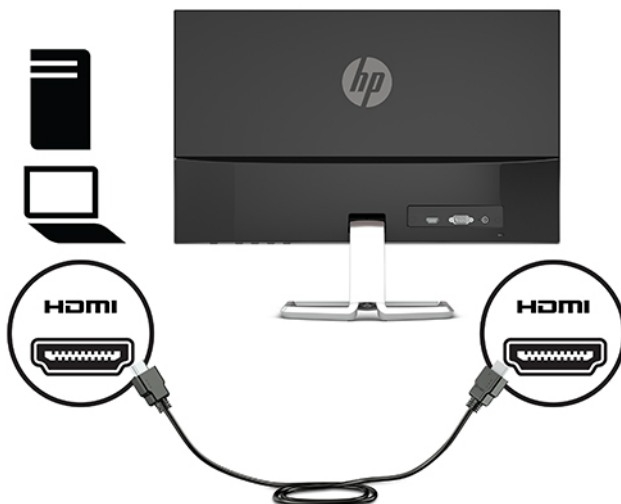
 **重要:** 同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記:** 入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスし、**[入力コントロール]**を選択します。

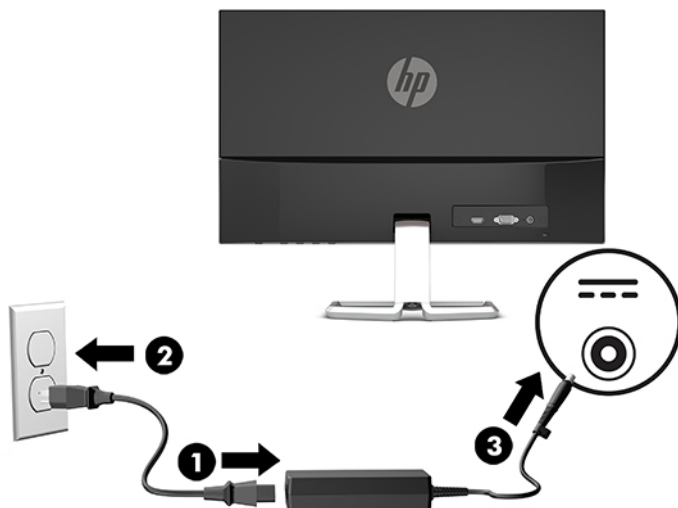
- VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面の VGA コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの VGA コネクタに接続します。



- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



3. 電源コードの一方の端を電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、電源コードの丸い端をモニターの電源コネクタに接続します (3)。



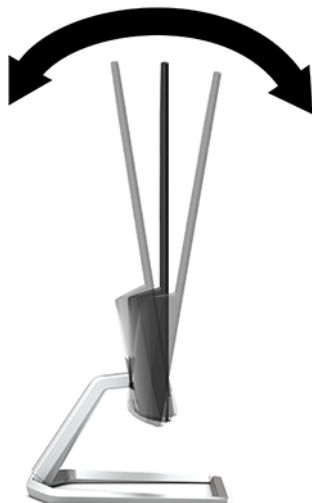
**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## モニター調整

モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



## モニターの電源投入

1. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニター底面の電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



**重要：**モニターを使用しない状態が12時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HPの保証の対象外です。

**注記：**電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを10秒程度押し続けます。

**注記：**電源ランプはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。メニューボタンを押してOSDを開き、【電力コントロール】を選択します。【電源ランプ】→【オフ】の順に選択します。



モニターの電源が初めて入ると、モニターステータスメッセージが5秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ、初期設定はオン）、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

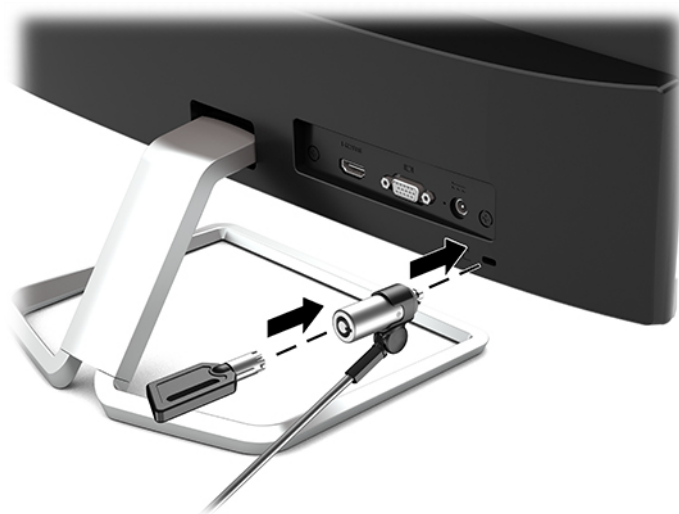
## しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

IPS モデルのモニターは、非常に広い視野角と高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術で設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、静止画像、停止画像、または固定画像を長時間スクリーンセーバーを使用しないで表示するような用途には向いていません。そのような用途には、カメラによる監視、ビデオゲーム、マーケティングロゴ、画面に長時間表示されるテンプレートなどがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときはモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとモニターの電源が切断されるようにします（システムでサポートされている場合）。

## セキュリティロックケーブルの取り付け

別売のセキュリティロックケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。



---

## 2 モニターの使用

### ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> から次のファイルをダウンロードして、お使いのコンピューターにインストールできます。

- INF (情報) ファイル
- ICM (Image Color Matching) ファイル (調整済みの色空間ごとに 1 つ)


### 情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記** : ICM のカラー プロファイルは、ICC (International Color Consortium) のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

---

# オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用


オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのフロントパネルの底面にあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、**電源**ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、**メニュー**ボタンを押して OSD を開きます。
3. 3つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーンボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

 **注記：** OSD メニューのシミュレーションを、HP のカスタマーセルフリペアプログラムのサービスメディアライブラリー（HP Customer Self Repair Services Media Library、<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト）から見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

## 自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、ホストコンピューターから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態（スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.3 W です。ホストデバイスからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。メニュー ボタンを押して OSD を表示し、【電カコントロール】→【自動スリープモード】→【オフ】の順に選択します。

## 低ブルー ライトモードの選択

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。HP モニターにはブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを見るときに刺激を低減するための設定が用意されています。見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. **表示モード** ボタンを押して【表示モード】メニューを開くか、メニュー ボタンを押し、【カラーコントロール】→【表示モード】の順に選択します。
2. 目的の設定を選択します。
  - **低ブルーライト**（TUV 認証済み）：ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
  - **夜間**：ブルーライトの発光が最も少なくなるようモニターを調整します
  - **読書**：ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
3. 【Save and Return】（保存して戻る）を選択して設定を保存し、【表示モード】メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、【キャンセル】を選択します。
4. オンスクリーンディスプレイ（OSD）メインメニューから【Exit】（終了）を選択します。

**警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から【日本語】を選択することで表示できます。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	モニターの電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	モニターの電源ボタンを押します <b>注記：</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが接続されていない	ビデオケーブルを入カデバイスおよびモニターに接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください。詳しくは、 <a href="#">8ページのケーブルの接続</a> を参照してください
	システムがスリープモードになっています	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
	ビデオカードに互換性がない	ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭載されているビデオソースにビデオケーブルを接続します
	複数のビデオケーブルを接続している	使用しないビデオケーブルを取り外します
画像が暗すぎる	輝度設定が低すぎる	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて <b>【輝度】</b> を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
<b>【Input Signal Not Found】</b> というメッセージが画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
<b>【Input Signal Out of Range】</b> というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 <a href="#">27ページのプリセットディスプレイ解像度</a> を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力モードが無効になっている	OSDメニューを開き、 <b>【電力コントロール】</b> → <b>【自動スリープモード】</b> の順に選択して、自動スリープを <b>【オン】</b> に設定します
<b>【OSD Lockout】</b> と画面に表示される	モニターのOSDロックアウト機能が有効になっている	<b>メニュー</b> ボタンを10秒程度押し続けて、OSDのロックアウト機能を無効にします
<b>【Power Button Lockout】</b> と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします

## ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

## 自動調整機能の使用 (アナログ入力)

以下のような場合に、自動調整機能によって画面の最適化が自動的に行われます。

- モニターの設定
- コンピューターの工場出荷状態へのリセット
- モニターの解像度の変更

オンスクリーンディスプレイ (OSD) の[Auto Adjustment] (自動調整) メニューから、VGA (アナログ) 入力の画面の画質をいつでも手動で最適化できます。HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> から自動調整用パターンソフトウェアユーティリティをダウンロードできます。

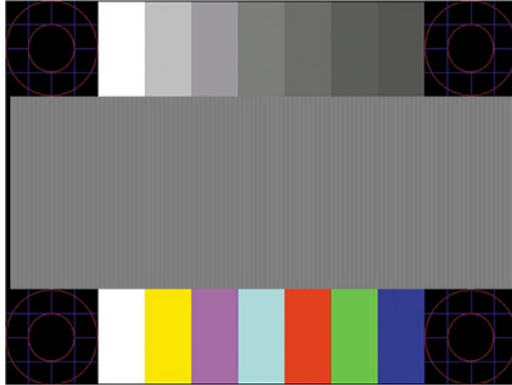
お使いのモニターが VGA 入力に未対応の場合は、この操作を行わないでください。お使いのモニターが VGA (アナログ) 入力対応の場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. **メニュー** ボタンを押して OSD を開き、**[Image Control]** (イメージコントロール) →**[Auto Adjustment]**の順に選択します。期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。


3. 自動調整ユーティリティを開きます（このユーティリティは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードできます）。セットアップのためのテストパターンが表示されます。



4. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。


## 画質の最適化（アナログ入力）

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの[Clock]（クロック）および[Phase]（フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

 **注記：** [Clock]および[Phase]はアナログ（VGA）入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。

- **[Clock]：** 画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Phase]：** 画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

 **注記：** これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。このユーティリティは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードできます。

[Clock]および[Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、**メニュー** ボタンを押して OSD を開き、**[Management]**（管理）→**[Factory Reset]**（工場出荷時設定にリセット）→**[Yes]**（はい）の順に選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD を開き、**[Image Control]**（イメージコントロール）→**[Clock and Phase]**（クロックとフェーズ）の順に選択します。

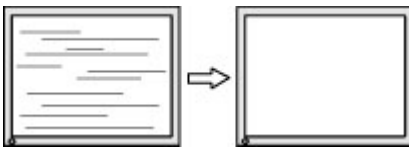
2. **[Clock]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを使用して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。



3. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてフェーズを調整します。

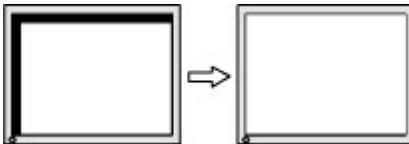
ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（フェーズ）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD を開き、**[Image Control]**→**[Clock and Phase]**の順に選択します。
2. **[Phase]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを使用して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックスコントローラーカードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。



画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD を開き、**[Image Control]**→**[Image Position]**（画面の位置）の順に選択します。
2. 上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。**[Horizontal Position]**（水平表示位置）では画像を左右に移動し、**[Vertical Position]**（垂直表示位置）では画像を上下に移動します。





## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。


### お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

### シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにモニター本体を後ろに傾ける必要があります。




## 4 モニターの保守

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：**モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタースタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

### モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。


 **重要：**布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**重要：**ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

## 21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	21.5 インチ（54.6 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	54.6 cm/21.5 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	2.3 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	38.1 cm
奥行き	18.7 cm
幅	49.0 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 25°
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	21 W
通常設定	19 W
スリープ時	0.3 W

仕様	測定値
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×1、VGA コネクタ×1

## 23 インチ（対角長 58.4 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	23 インチ（58.4 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	58.4 cm/23 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	2.6 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	39.9 cm
奥行き	18.7 cm
幅	52.1 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 25°
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	22 W
通常設定	20 W
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×1、VGA コネクタ×1

## 23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	23.8 インチ（60.5 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	60.5 cm/23.8 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	2.8 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	40.9 cm
奥行き	18.7 cm
幅	54.0 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 25°
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	22 W
通常設定	20 W
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×1、VGA コネクタ×1

## 25 インチ（対角長 63.3 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	25 インチ（63.3 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	63.3 cm/25 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	3.3 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	42.5 cm
奥行き	20.4 cm
幅	57.6 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 25°
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	21 W
通常設定	19 W
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×2、VGA コネクタ×1

## 27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	27 インチ（68.6 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	68.6 cm/27 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	3.7 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	44.9 cm
奥行き	20.4 cm
幅	61.2 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 25°
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	27 W
通常設定	25 W
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×2、VGA コネクタ×1



## 電源アダプター

製造元	モデル番号	電源電圧	モニターのモデル
Delta	ADP-30BD D	19 V (30 W)	21.5 インチ (対角長 54.6 cm)、23 インチ (対角長 58.4 cm)、23.8 インチ (対角長 60.5 cm)
	ADP-40LD D	19 V (40 W)	
Honor	ADS-40NP-19-1 19030E	19 V (30 W)	21.5 インチ (対角長 54.6 cm)、23 インチ (対角長 58.4 cm)、23.8 インチ (対角長 60.5 cm)
	ADS-40NP-19-1 19040E	19 V (40 W)	
			25 インチ (対角長 63.3 cm)、27 インチ (対角長 68.6 cm)

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセットディスプレイ解像度			
(1)	640×480 (60 Hz)	(11)	1280×1024 (60 Hz)
(2)	640×480 (75 Hz)	(12)	1280×1024 (75 Hz)
(3)	720×400 (70 Hz)	(13)	1366×768 (60 Hz)
(4)	800×600 (60 Hz)	(14)	1440×900 (60 Hz)
(5)	800×600 (75 Hz)	(15)	1440×900 (75 Hz)
(6)	1024×768 (60 Hz)	(16)	1600×900 (60 Hz)
(7)	1024×768 (75 Hz)	(17)	1680×1050 (60 Hz)
(8)	1280×720 (60 Hz)	(18)	1920×1080 (60 Hz)
(9)	1280×800 (60 Hz)	(19)	1920×1080 (75 Hz)
(10)	1280×800 (75 Hz)		

## ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。


- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

## 省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は0.3Wです。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネジメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエネルギーセーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギーセーブユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色に点灯します。


---

## B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

### サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

### HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html)（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。